

第2回 若手教員自主研修会

7月1日(火)に、若手教員自主研修会を開催しました。第2回目は、滑川市立東加積小学校 楠康司先生を講師にお招きしました。

研修内容の一部を紹介します。

【2人1組体ほぐし】

- ・ペアをつくる
- ・ペアのポーズの真似をする(鏡になる)
- ・手押し車
- ・足じゃんけん → 勝った人が言う運動を行う(その場でジャンプ5回など)

2人1組体ほぐしは準備運動の役割を担うとともに、心もほぐすアイスブレイクの役割があることを体験しました。

【マットでボールキャッチ】

- ・2チームに分かれる(運動場所を2つ用意)
- ・ボールを上に向けて → 前転 → キャッチの練習
- ・得点板を用意
- ・前転→ボールに触ったら1点、前転→キャッチできたら2点、前転→立ってキャッチできたら3点のルールで競う(3分)

単純な運動も得点化することで熱中することを体験しました。

【ラクビーボール運びゲーム】

- ・4チームに分かれる(各チームにフラフープ1つ)
- ・ボールは6つ(最初は中央にある)
- ・メンバー内で順番を決める。ボールを1つ取りに行く。自分のチームのフラフープにボールを置く。繰り返す。
- ・自分のチームのフラフープにボールを3つ置くことができると勝ち。
- ・他のチームのフラフープからボールを奪ってもよい。

どのチームからボールを奪うか状況判断が求められます。ゲームを通して、チームでの協力を味わいました。

【リズムとテンポ】

授業ではリズムとテンポを意識し、教師の指示はできるだけ短くすることの大切さを、実技を通して教えていただきました。



実技「2人1組体ほぐし」



実技「マットでボールキャッチ」



実技「ラクビーボール運びゲーム」



(短い指示)

【講話】

- (1) ルールを守る
- (2) 協力する
- (3) 応援する

体育科の活動には社会性を育む要素が豊富で学級経営と直結していることなどご教授いただきました。

今後の若手教員自主研修会

- ・ 第3回 8月 1日（金）
- ・ 第4回 8月 7日（木）
- ・ 第5回 8月 8日（金）
- ・ 第6回 2月 26日（木）

多くの先生方の参加をお待ちしております。



講話「学級づくりにつながる体育

受講者の感想

体育の指導がとても苦手なので、たくさんの技を教えていただけて、とても勉強になりました。明日から、使える技はどんどん使っていきたいと思いました。

私は中学校の保健体育なのですが、授業を進めていくうえで生かしていける学びが多くありました。全員を待たず、指示をスタートして集合への意識を改善につなげていきたいと思います。ありがとうございました。

活動量を確保しながら、できる楽しさを伝えていきたいと思いました。

活動の意図を言語化（アイスブレイク・技能の見極め・熱中する得点化・全員参加につながるシンプルなルールなど）されているところが勉強になりました。活動の意図をあまり深く考えず感覚で授業を進めることがあります。一つ一つの活動の意味を考えたり、あるいは活動内容を吟味したりすること、今一度考え直したいです。本日はどうもありがとうございました。

十分な運動学習時間を確保するために、指示など具体的な工夫を知ることができました。研修自体もすごくスピーディかつ濃い内容で、非常に学びのある機会でした。ありがとうございました。

アイディアいっぱいの楽しい研修でした。子どもを褒めるタイミング、集中させるテクニック、夢中にさせるアイディア。とても勉強になりました。早速、明日から実践します！ありがとうございました。

とても有意義な時間でした。まずは実践してみようと思っています！また子供達の良いところをたくさん認めて良い雰囲気をつくる時間にしていきたいです。ありがとうございました。